

R3 年度地域課題への取組 報告書

提出日 令和7年3月3日 部会名・WG名 ケアマネ連絡会

取組んだ課題
C 群の課題

取り組んだ内容・得られた結果	今後の方向性	方向性を出した理由
(別紙)のように R5年を中心にC 群の課題の整理を行った。 ① ある一定の支援は必要だがGHを望まない人の一人暮らしの支援の問題(サテライト GHや自立生活援助の課題も) ② 計画相談、主任相談員、委託相談等の役割や相談体制のあり方 ③ 地域生活支援拠点の機能の整理 ④ 就労アセスメントのあり方 ⑤ 地域社会での障害児の育ちを支える包括的支援のあり方(インクルーシブな視点)	☐ 施策化 ☐ WG化 ■ 終結	R5年に別紙のようにまとめており、課題はあるものの時間をかけて取り組むものや実際の事例から具体的に課題を検討する必要があること、また、市や部会等で取り組み始めていることも出てきており、いったん終了する。 ① 地域生活支援拠点と絡めて検討。 ② 基幹相談支援センターの設置に合わせて、長野市の相談支援体制についての整理、検討が必要。(市) ③ 市や事業所と合わせて整理していく ④ 制度の変更(就労選択支援)が予定されており、それに合わせて、長野市ではどう取り組んでいくかの整理が必要(しごと部会) ⑤ 児童発達支援事業、保育園及び幼稚園、放課後等デイサービス、放課後子どもプランなど、障害児の育ちを支える機関同士の理解や情報交換の場が持たれている(子ども部会)